

会 議 録

□ 全部記録

■ 要点記録

1 会 議 名	第 4 回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議
2 開催日時	令和 7 年 2 月 8 日（土曜日） 18 時 00 分～20 時 00 分
3 開催場所	津田公民館
4 出席者又は欠席者名（敬称略）	（出席者）津田地区連合自治会加茂自治会：吉田達生会長、土島広紀副会長 〃 今在家自治会：井上清勝会長、八木実副会長、井上秀昭副会長、藤原昭一副会長 〃 構自治会：三木章司会長、木村正副会長、渡邊浩副会長 〃 思案橋自治会：山本道人会長、東龍太副会長、鴨川敏之役員 英賀保地区連合自治会：魚田政敏会長、西川茂樹副会長 飾磨橋西地区連合自治会：野口照男会長、達賀善忠副会長 （欠席者）津田地区連合自治会加茂自治会：本間忠副会長 飾磨橋東地区連合自治会：大野光生会長、野田勝也副会長 （事務局）農林水産環境局長、環境事業推進室長、環境事業推進室主幹 2 名、環境事業推進室 5 名
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 2 名
6 議題又は案件及び結論等	報告 （１） 事業の進捗状況について （２） 令和 7 年度以降の事業予定について （３） 交通量調査の結果について （４） 新美化センターの概要について 議事 （１） 前回までの地域連絡調整会議のフリカエリ

- (2) 新美化センターの運営に関することについて
- (3) 付帯施設等の検討について
- (4) 事業実施までの今後の方向性について

7 会議の全部内容又は進行記録

詳細については別紙参照

第4回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議 会議録（内容）

会議の記録

●報告

- ・報告（１）事業の進捗状況（２）令和７年度以降の事業予定（３）交通量調査の結果（４）新美化センターの概要について、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

出席者：処理方式がストーカ式に決定した経過をもう少し詳しく教えてほしい。

事務局：プラントメーカーのアンケート結果を踏まえ、推奨する５つのごみ処理方式を整備基本計画検討委員会で審議した。その結果、各項目で安定して評価が高く、導入実績や対応可能なメーカーも多く、経費面でも優れていることからストーカ式とした。

出席者：処理方式の決定は議会には報告したのか。

事務局：議会には３月の市議会経済観光委員会で整備基本計画検討委員会の進捗として報告する予定である。整備基本計画検討委員会は公開で開催しており、ホームページでも準備でき次第、会議録を公開する。

出席者：ストーカ式は比較的低温での処理のため、ダイオキシンが発生する可能性が高いのではないか。

事務局：ストーカ式を含め比較した処理方式は、いずれも法の環境基準をすべてクリアした処理方式である。その他にも機器の設置など、いかに低コストで効率よくダイオキシンの発生を抑制するか、整備事業者提案を求めている。

出席者：解体工事の地域住民対象の説明会はどのような内容か。

事務局：市と解体事業者が合同で工事の手順や対策を説明する。その中で地域の要望も聞きながら、迷惑をかけないような対策をしていく。

出席者：解体工事の工期は令和９年１０月までとなっているが、住宅に埃が届かないように南風が吹く夏の期間は外してほしい。

事務局：実際のスケジュールについては、解体事業者から提出される工程表を基に説明会でしっかり説明し、地域の皆様の理解を得てからの着工となる。

出席者：解体工事の搬出入車両は市が指定するルートのみを通行するのか。

事務局：おそらく幹線道路を通行することになると思うが、危険性が高く通行を避けてほしい時間帯など、地域の皆様や警察と協議をして決めていくことになる。事業者が決定すれば、搬出入車両の通行に伴う影響に対し、十分な配慮を求めている。

出席者：廃材などを運ぶ際にはホコを被せる等、きっちり対策をしてほしい。

事務局：きっちりと対策をしていく。

出席者：9ページの配置図で施設を北にいっぱい寄せて、南の網掛け部分の面積を広く取ってあるが、この広場は何に使用するのか。

事務局：この配置図は基本計画作成の委託業者から提案された仮の配置図であり、今後、整備事業者からの提案により施設の配置は全く変わる可能性もある。網掛け部分は想定する施設を配置した場合に、どの程度の余剰があるかという目安となる。広場の用途はまだ決まっておらず、地域の皆様と協議し決めていきたい。

出席者：採用しているストーカー式は大体どの事業者でも対応可能か。

事務局：今回メーカーアンケートで協力いただいた事業者では8社中8社が対応可能であり、競争性は十分確保できる方式である。

●議事

(1) 前回までの地域連絡調整会議のフリカエリについて、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

意見なし。

(2) 新美化センターの運営に関することについて、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

出席者：13ページで示している搬出入ルート以外に新たに別の道路を整備する予定はないのか。

事務局：現段階で想定しているルートを示している。他の道路の新設や拡幅は管理者等と現在協議中であるが、調整が難しく時間を要している。

出席者：12ページの「その他ごみ」とは、具体的にどのようなものか。

事務局：7ページに記載の一般持ち込みごみやまち美化清掃ごみなどを意味している。

(3) 付帯施設等の検討について、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

出席者：16ページの説明では、要望している道路整備の実現可能性は低いと受けとれた。新美化センターが稼働すれば間違いなく車両が増加し、国道250号が渋滞することで一般車両が生活道路に進入してくる。夢前川河口緑道の整備など、前向きに何か渋滞対策を検討してほしい。

事務局：夢前川河口緑道の整備など、民間事業者や他の組織と調整が必要な課題については、長期的に進めていきたい。例えば、今在家排水路北側道路の側溝の蓋掛けをすることで通行がしやすくなると考えている。すぐに取りかけられる渋滞対策については優先して実施していきたい。

出席者：網干臨海大橋はエコパークあぼしが建設された時に設置されたものか。もしそうであれば、今回も何か同じような渋滞対策をお願いしたい。

事務局：網干臨海大橋は公有水面埋立時に建設されたもので、エコパークあぼしのために設置されたものではない。交通渋滞の改善については地域の一番重要な課題であると認識している。その地域の課題に対しては調整が難しいから諦めるのではなく、実現できるように引き続き協議していく。また、姫路市全体の道路計画では、令和11年頃までに広畑幹線と夢前川右岸線が開通予定であり、その2本が開通すれば国道250号の交通量が4割減るシミュレーション結果も出ている。引き続き交通量調査も実施しながら経過を示していきたい。

出席者：今の説明ではそれらの道路が開通して、4割減の状況を見てから対策を考えようとしていると受け取れてしまう。そうではなくてそれらの計画道路の整備と並行して進めてほしい。

事務局：もちろん並行して進めていきたい。

出席者：小学校の通学時間帯の生活道路への進入は事故にも繋がりやすいため、警察とも連携しながら対策してほしい。

事務局：委託業者や許可業者の収集車両は市で直接指導ができる。一般車両については警察等と対策を協議していきたい。

出席者：今要望している道路の整備などは、施設が完成した後では絶対に実現しないと思う。新美化センターの建設は姫路市の重要な事業であるため、道路部局などの他の部局もこの会議に出席し、オール姫路で地域の声を直接聞いてほしい。

事務局：この会議での地域の皆様からの意見は、副市長以下関係局長で構成する庁内の整備推進委員会ですべて共有し、課題について協議している。これからも地域の皆様の声を大切に、事業を進めていきたい。

出席者：地域から出た意見が具体的にどのように協議が進められているのか伝わってこない。貴重な時間を割いて会議に出席しているのに、毎回同じ内容の会議になってしまう。施設の建設を受け入れた地域に対しての協力を何か形に表してほしい。

事務局：今回のように地域の皆様と一緒に検討していく事業の進め方は非常にめずらしい。検討項目が多く、会議では具体的な協議内容を省略して説明している部分もある。方針が決定した事項は粛々と進め、協議中の事項については、協議内容・状況などをできるだけ詳しく説明していけるように考えたい。施設の建設を受け入れてもらっている地域には、すぐにできることは優先的に進めていきたいと思っている。

座長：夢前川沿いの道路整備が難しいのであれば、湾岸道路や地下トンネルを検討できないのか。

かなりハードルが高いとは思いますが、姫路市ではそのような案は出なかったのか。

事務局：対岸の細江から船場川に橋を掛けることも考えたが、船が通るため難しいと感じている。

出席者：今はもう船は通っていないのではないか。

(4) 事業実施までの今後の方向性について、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

意見なし。

以上